

メニュー

[この塾について](#)[理事長の挨拶](#)[未来塾からのお知らせ](#)[平成23年度 学校教育プログラム](#)[学校講演会](#)[平成23年度 地域教育プログラム](#)[全体プログラム](#)[ロボットクラブ](#)[高浜市少年少女発明クラブ](#)[高浜ビデオクラブ](#)[ディベートクラブ](#)[スマッピングリッシュクラブ](#)[おもしろサイエンスクラブ](#)[過去の年度講座](#)[指導員・サポーターの募集](#)[お問い合わせ](#)[H23](#)

サイト内検索

 [たかはま夢・未来塾](#) > [高浜ビデオクラブ](#)

高浜ビデオクラブ

第11回 高浜ビデオクラブ講座

刈谷市産業振興センター4階にあるチャンネルDaichiのスタジオにて、テレビ収録を行いました。

「プロミス-約束-」をチャンネルDaichiのインディーズシネマという番組で放映していただくことが決まり、その前座として、塾生が出演することになりました。

初めてのテレビ出演にみんな最初は緊張していた様子でしたが、カメラを持っているのが講師の加藤先生だったので、徐々に慣れてきた様子でした。

放映は、4月になります。

チャンネルDaichi（107ch）は、午前10時から約2時間と午後10時から約2時間、1ヶ月間同じ内容が放送されます。



ビデオクラブ映画「プロミス」 Vフェスでダブル受賞しました。

日時: 1月22日(日) 12:30から18:00

場所: 刈谷市産業振興センター 7階 小ホール

たかはま夢・未来塾 高浜ビデオクラブ制作映画「プロミス-約束-」が第8回 碧海・西尾幡豆市民映像祭（Vフェス）で、ノミネート作品に選ばれました。



応募総数全78作品の中から、賞にノミネートされたのは、8作品。
これらが上映されました。

賞は、グランプリ・準グランプリ・審査員特別賞・優秀賞(5作品)に加えて、
当日上映された作品を見た観客が投票して選ぶ観客賞があります。



上映が終わり、表彰式が始まりました。

みんなドキドキして結果を待ちます。



いちばんに名前を呼ばれたのは、たかはま夢・未来塾。
審査員特別賞を受賞しました。



みんなで舞台上がります。賞状と盾と副賞をいただきました。



プロミスで主人公を演じた橋本花菜実さんが、受賞の喜びを語りました。

賞の発表は、その後、準グランプリ・グランプリと続きます。

グランプリは、
「市民で歌う第九」を撮影した、西尾市のビデオオッチャーさんが受賞しました。

準グランプリには、
「合併で一色の何がどう変わった」を撮った一色中学校、
「不乗森(のらずのもり)神社 湯立神事」の安城市の土井さんが選ばれました。

観客賞の発表は、一番最後に行われ、未来塾の名前が呼ばれました。

塾生は、飛び上がってガッツポーズです。
みんなで再び壇上に戻ります。



ダブル受賞にみんな大喜びでした。



第9回 高浜ビデオクラブ講座

日時:12月17日(土) 午前10:00から12:00

場所:たかはま夢・未来塾

今日のテーマは、「映画撮影技術について」

映画「プロミス」を題材に、映画の編集などの技術を学びました。

まず、コンピューターに撮った映像を取り込み、編集ソフトを起動して、編集を行います。

《学んだ技術》

○オープニングより

- ・神の声 速度を100%から70%にする。⇒遅くなると同時に低くなる。
- ・映像をかぶせる。建物の画像と夕日の映像を重ねる。
- ・建物の画像の青をクロマキー合成技術で透明にする。
⇒建物の後ろの青空が赤に変わる。
- ・画像の速度を変える。ゆっくり⇒速く⇒主人公の「ハッ」とした心情を表現
- ・写真の一部のみを動かすことで、画像全体が動いているように見せる
⇒雷のシーン

- ・同じ建物の画像を2枚使って、2つの風景を混ぜることで、風景が変化したように見せる。

○ボヤや太郎のアクションシーンより

- ・後ろに飛び去る⇒逆回しを利用
- ・ケンカのシーンでは、こぶしと殴られるところを映さないようにしたら、本当に殴られているように見える。
- ・ボヤがとばされるシーン⇒写真をだんだん小さく、右上に移動させてやることで、飛ばされているイメージを作ることができる。
- ・ズームアップを利用して、主人公のモノローグが伝わるようにする。その際、周りの人物はへんな動きをして、観客の目をひいてはいけない。

○サイボーグ戦士のアクションシーンより

- ・銃が急に現れる⇒2つの画像を合わせる。
- ・肩越しに向こうの風景を撮ることを「なめカット」という。
- ・飛ぶときのジェット噴射は実は花火の映像。
- ・背景と写真をはやく動かして、高速で飛んでいるように見せる。

など、多くの技術を学ぶことができました。



第8回 高浜ビデオクラブ

日時: 11月20日(日) 13:30から15:30

場所: たかはま夢・未来塾

(1) 講座の感想

講座も残すところあと3回となりました。これまでの講座を振り返り、感想を言ってもらいました。

- ・編集を学ぶ講座で、編集を変えるだけで、画像から受ける印象が変わるのが面白かった。
 - ・画面の色をセピアや白黒にすることで過去を表現できることが面白かった。
 - ・ビデオのことが少し分かってきた。
 - ・今まで意識していなかったけど、撮影するときカメラの位置などを考えるようになった。
 - ・自分で編集したかった。
 - ・映画を制作するときに、いろいろみんなで協力することを知った。
- などなど..

(2) ビデオ撮影技術について(上級編)

○映画「マトリックス」の戦うシーンで、ストップモーションで360°回転するシーンはどうやって撮影してるのか？(ヒロインが空中に浮いたままの状態カメラが360°回るシーン)
→役者の周囲360°にカメラを配置し、同時に写真を撮影する。その後デジタル処理をし、映像をつなぐ。

○ながしどり

カメラのシャッタースピードは1/60秒です。なので、1/60秒より速く動くもの(スポーツカーなど)を静止した状態で映すと、写真にしたとき速く動くものだけがぶれて写ります。しかし、速く動くものと同じスピードでカメラを動かしてやると、速く動くものはきれいに写り、周りの風景がぶれて写ります。これを「ながしどり」といい、物体がすごいスピードで動いているように見せることができます。

○暗闇で光の残像を撮影する。

暗いところで、画面を横切るように歩きながら、光を点滅させると、歩いている人は写らず、

光だけが点々と写ります。
まるで火の玉が写っているような画像をとることができます。

○ソフトに映す効果

→カメラにストッキングをかぶせる(人間はかぶらない)。

○被写体深度(被写体と背景にあるものとの位置関係)で映像の印象が変わる。
ズームアウトして被写体を撮影し、被写体をズームアップするのと同じスピードで
ズームアップしていくと・・・

→被写体の大きさは変わらないが、周りの風景が遠ざかるように見える。

実際に、カメラを使って撮影し、その映像を見せてもらいました。
被写体となる女の子を中心に後ろに2人の女の子に立ってもらい、撮影しました。
だれも動いていないはずなのに、後ろの女の子が遠くなるように見えて、不思議でした。

○背景を考える

背景が良くないときは、背景をぼかすようにする。

○(おまけ)女の子がかわいく写るための写真テクニック

顔の下に白い紙を置く。下唇を少し濡らす。など



次回講座は12月17日(土)の午前10時から12時です。
映画「プロミス」の制作設計図(プロジェクト)をもとに映画撮影の構成を学びます。

第7回 高浜ビデオクラブ講座

日時:10月22日(土) 13:30から15:30

場所:たかはま夢・未来塾

《撮影した映像をみんなで見る》

10月15日(土)に撮影した「タカハマ物語(仮称)」のメイキングビデオを見て、撮影方法について加藤先生から評価していただきました。

・ズームで撮ると、手によるブレが目立つ

→ズームはなるべく使わない。大きく撮影したいときは、なるべく近くによる。

ズームを利用する際は、持ち方に気を付ける。あるいは、壁に寄り掛かるなどして、カメラを安定させる。



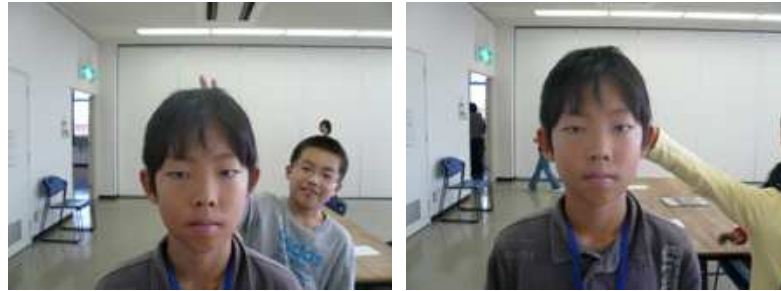
・何を撮りたいか見た人が分かるようにする。

→何を撮りたいかちゃんと決めてから撮影する。

決めてから、録画ボタンを押すことで、無駄撮りがなくなる。

・構図を考えて、撮影する。

- 真ん中正面に人物が来るときは、人物の顔が画面の中心だと人物の上の空間が気になる。
- 画面上端から人物の目の高さ: 人物の目の高さから下端=1:2だと空間が気にならない。



- 横向きの人物を撮影するときは、人物の視線方向を空けるとよい。
- 映像を見ている人に、被写体が何をみているのかわかるようにする。



《映画制作で使われる技術》

先日上映した「プロミス」で使用した撮影技術や見どころを教えてくださいました。

- ・空が赤くなるシーンでは、空を赤くしたのではなく、画面全体から「青」の色素を消した。
- ・バックをぼかして、人物にフォーカスを合わせると、人物が浮き立つ(ナミが神社で祈るシーン)。
- ・画面を傾ける・揺らすことで、不安定な気持ちの表現になる。
- ・タイトルバックで、背景の動きと文字の動きを同じにすることで、カメラが寄っているように見せることができる。
- ・撮影時には、時計に気を付ける。撮影時間が長引くことでつじつまが合わなくなることも。
- ・反射する素材へのカメラの映り込みに気を付ける。
- ・CG作成のポイントなど

11月13日の文化祭で、「プロミス-約束-」を上映します。

プロミス上映！「チャンネルDaichi 製作市民映画 上映会」にて

チャンネルDaichi 製作市民映画 上映会

日時:10月9日(日) 13:00開場 13:30開演

場所:碧南芸術文化ホール シアターサウス

主催:碧海・西尾市民映画プロジェクト(AOMIN FILMS)

共催:NPO碧海・西尾幡豆市民放送局 チャンネルDaichi

高浜ビデオクラブ講師・加藤行延先生監督作品『SKETCH BOOK』の上映会がありました。

映画『SKETCH BOOK』上映とともに、映画音楽を担当したHARUさんのライブや映画の中で出てくる魁の演舞などが上演されました。

それに合わせて、塾生たちと加藤先生が夏休みに撮影した映画『プロミス-約束-』も上映していただきました。

塾生たちには、舞台挨拶もあり、緊張した様子で話していました。



高浜市長も来ていただきました。

第6回 高浜ビデオクラブ講座

日時:9月17日(金)10:00から12:00

場所:たかはま夢・未来塾

今回は、「榊原先生のビデオ編集講座」。

パソコンソフトを使って、ビデオの編集のしかたを学びました。

編集ソフトは、塾生が家庭で編集できるように、Windowsのフリーソフトを使用します。

今回は、Windows 7のWindows Live ムービーメーカーという編集ソフトを使って、学びました。

7月16日のビデオ撮影講座で使用した、映像を題材にしました。

《ビデオツール》

- ・分割:映像を分割することができる。
- ・トリム:映像の両端を切り取ることができる。開始位置と停止位置は秒数で指定できる。

《アニメーション》

- ・アニメーションで2つの画像の間をつなぐことができる。
- ・どのくらいで変化するかなどは、秒数で指定することができる。

《視覚効果》

- ・白黒・セピア・白黒反転・ぼやけるなどの視覚効果をつけることができる。

《テキストツール》

- ・字幕をいれることができる。
- ・タイトル:映画タイトル、キャプション:字幕、クレジット:エンドロールに出てくる
- ・フォント・大きさなど調整、透明度の調整、特殊効果をつけることができる。

《音楽ツール》

- ・映像に音楽をつけることができる。
- ・”ビデオボリューム”で元の映像の音を消すことができる。

《注意事項》

- ・保存はまめに行う(20分に1回くらい)
- ・”共有”をクリックすると、You Tubeなどにアップできるが、アップする際には音楽などの著作権に注意する。

7月16日の講座の様子を撮影した、なんの変哲もない映像が、編集することによって、お笑い映像になりました(笑)。

その後、「プロミス-約束-」の一部映像を試写しました。

CGを入れる前の映像と入れた後の映像を比較しました。

CGがないと、「？」な映像が、CGが入るとあっと驚く映像になりました。

10月9日の上映会が楽しみです。



第5回 高浜ビデオクラブ講座

日時:8月20日(土)13:30から15:30

場所:たかはま夢・未来塾

今日のテーマは、「ビデオ撮影」。

松本先生が編集した、「ビデオ撮影入門」DVDを見ながら、上手な撮影について学びました。



・カットのねらい

よいカットを撮るためには、

- (1)カメラポジション
- (2)カメラアングル
- (3)画面の大きさ

に注意して、体で動いて撮影場所を探し、どのようなカットを撮るかを決めます。

・逆光と順光

被写体の前に光源(太陽・照明など)がある場合を「順光」、
被写体の後ろに光源がある場合を「逆光」といいます。

明かりのついた部屋で、窓をバックにして立つと、肉眼では被写体の顔がはっきりと見えますが、カメラを通すと、被写体の顔が暗く写り、よく見えなくなることがあります。

→カメラの補正機能が肉眼と異なっているために起こる現象。

そのような特性に注意して、背景に気をつけて撮影することも重要です。



↑ 窓を背景にすると、被写体が暗く写ります(分かりにくいかもしれませんが)

休憩後、松本先生より、ビデオカメラを希望する塾生に貸し出ししました。



休憩時間に、映画「プロミス-約束?」の「神の声」を収録しました。



休憩時間の風景。



高浜ビデオクラブ 映画「プロミス-約束-」上映決定！

高浜ビデオクラブの塾生たちの映画「プロミス-約束-」が、チャンネルDaichi制作市民映画上映会にて、上映していただけることが決定いたしました。

日時:2011年10月9日(日)13:00開場 13:30開演

場所:碧南市芸術文化ホール シアターサウス

ビデオクラブ講師・加藤行延先生の監督作品「スケッチブック」やHARU音楽ライブ、魁演舞なども公演されます。

塾生による舞台挨拶や映画で使った小道具の展示も行う予定です。

<公演スケジュール>

13:30 開演

13:40 チャンネル Daichi 制作 市民映画 「スケッチブック」

15:10 HARU 音楽ライブ

15:45 魁 演舞

16:05 たかはま夢・未来塾 高浜ビデオクラブ 映画 「プロミス-約束-」

詳しくは、[チラシ\(おもて\)](#)、[チラシ\(うら\)](#)をご覧ください。

映画撮影「撮影続行中」

今日は、味方の戦士役HくんのCGを作るために、未来塾で写真撮影をしました。

撮影後、スターウォーズの大ファンであるHくと加藤先生で、こんな写真を撮ってみました。



7月18日以降、今日以外にもロケ撮影を行っていますが、毎天天気に心配させられています。それでも、ロケの時間が近づくと、不思議と晴れて、なんとか予定通り進んでいます。さすが、スーパー晴れ男の加藤先生ですね。

映画撮影「クランクインと初ロケ」

台風の接近が気になるなか、ついに、映画「プロミスー約束ー」がクランクインしました。



今日の撮影は強行軍です。

まずは9時から公園で、いきなりラストシーンを撮影。

お昼ごはんを食べて、昨日作った爆弾解体シーンを撮影しました。

そして、5時から塾シーンを撮影し、6時に終わりました。

なかなかハードな一日であるとともに、とても楽しい一日でもありました。

塾生は、全員映画初出演であるにも関わらず、さらに書き直した台本の配布がロケ当日であるにも関わらず、セリフも演技もバッチリで、加藤先生をはじめ、大人のスタッフを驚かせました。

また、ほぼ一日立ちっぱなしで、みんな足がパンパンになりましたが、それでも、撮影が始まると役になりきって、がんばってくれました。

映画は、10月9日(日) 碧南市芸術文化ホール シアターサウスで上映します。

塾生による舞台挨拶も予定しております。



初めての撮影に出演者たちに緊張感が漂います。スタッフも固唾を呑んで見守ります。



加藤先生の演技指導のもと、撮影が進みます。



出演しない塾生は、カチンコや助監督役・メイキングビデオの撮影などをがんばりました。



塾生全員で記念撮影。

映画撮影「クランクイン前夜」

明日から、映画「プロミスー約束ー」の撮影に入るにあたり、衣装の打ち合わせと小道具の作成が行われました。

衣装は、敵役を演じることになるFくん、味方役の戦士を演じるHくんにそれぞれ衣装を持ってきてもらい、それでよいか確認しました。

今日つくる小道具は、なんと 爆弾！

未来塾 ロボットクラブ講師 奥井先生より、爆弾の起爆装置用の材料をいただきました。それを使って、はんだづけで起爆装置をつくります。

はんだづけは、去年までロボットクラブに在籍していたNくんが担当します。



真剣な表情で、起爆装置を作っています。

一方、加藤先生は爆薬(ダイナマイト)をトイレトペーパーの芯を使って作ります。最後に「DINAMITE」と書いて完成です。

幼稚園児でも分かるように、カタカナでも書きました(笑)



明日からの撮影が楽しみです。

第4回 高浜ビデオクラブ講座

日時:7月16日(土) 13:30?15:30

場所:たかはま夢・未来塾

今日のテーマは、「撮影の基礎を学ぶ」です。

18日から映画を撮影するにあたり、塾生たちは、加藤先生指揮のもと、出演者・スタッフをやるとともに、映画撮影のメイキングビデオを撮影します。

そのため、今日は上手にビデオを撮る方法を学びます。

講師は、松本金奈夫先生です。



(1)ビデオの撮影の基礎を学ぼう!

ビデオ撮影の基本は、

「ビデオは1つ1つのカットが集まって、ひとつのシーンが出来上がる」

という意識をもつことが大切だそうです。

つまり、ビデオ(動画)ですが、写真を撮るときのように、全体のバランスを考えながら、撮影するとよいということです。

そのためには、基本事項として、

「基本的にはカメラを動かさない。被写体が動いている様子を映す」

というのが一番なのだそうです。

確かにあんまりカメラが右往左往する映像は、いったい何が撮りたいのかわかりにくかったりして、見づらいものがあります。

それでも、カメラが動くことで、効果的に撮影をすることが出来ます。

その方法についても、学びました。

カメラを動かす際の基本的な注意点は、

☆最初と最後の映像をあらかじめ決めておいてから、カメラを動かす。

☆最初と最後の映像は、5秒ずつ静止したものを撮影する。(編集しやすくなる)

・パンニング(水平移動)

左パン・・・右→左
右パン・・・左→右

・ティルトイング(垂直移動)

ティルトアップ・・・下→上
ティルトダウン・・・上→下

・ズームイン・ズームアウト

ズームイン・・・カメラの機能で徐々に対象が拡大していくようにしていくこと。
ズームアウト・・・カメラの機能で徐々に対象が小さく映し、周りの景色も映りこむようにすること。

・ドリーイン・ドリーアウト(ドリー:カメラの三脚につける滑車のこと)

ドリーイン・・・滑車を使って、カメラそのものを対象に近づけていくこと。
ドリーアウト・・・滑車を使って、カメラそのものを対象から遠ざけること。

ズームイン・ズームアウトもドリーイン・ドリーアウトも映像的には同じものが撮れますが、家庭用ビデオカメラのように、カメラにマイクが付属したビデオカメラで撮影する場合、ズームインよりもドリーインのほうが、音源に近づく分、臨場感にあふれた映像になります。

(2)実際に撮影してみよう!

18日の撮影で、メイキング映像を撮影するために使う、ビデオカメラ(パナソニック TM-650)で、撮影の練習をしました。

さらに、撮影しているところを、松本先生の本格的なビデオカメラで撮影しました。



(3)撮影技術のおさらい

最後に松本先生が撮影したカラオケのイメージビデオを見て、撮影技術のおさらいをしました。

撮影方法を学んでから見てみると、短いビデオの中にも、さまざまな技術が使われていることがわかります。

7月18日からは、塾生の要望を叶えた映画「プロミスー約束ー」の撮影に入ります。

第3回 高浜ビデオクラブ講座

日時:7月2日(土) 10:00から12:00

場所:たかはま夢・未来塾

今回は、V-フェスに出品する映画作品の撮影について、お話がありました。

(1)脚本読み合わせ

前回、塾生が出した案に沿って、先生が脚本を作ってきてくださいました。
内容は、ジャンルで言うと、「SFコメディ映画」になるそうです。

通常、先生は、撮りたい映画内容にまず考え、そのイメージに合う役者をオーディションで選んで、映画を撮影するらしいのですが、今回は、まず役者(塾生)がいて、それぞれのやりたい役をきき、その希望に沿うようストーリーを作って、映画を撮影するという手法を使いました。

出来上がった脚本は、塾生の要望がすべて詰まったものになっています。

それぞれの役になりきって、読み合わせを行いました。

(2)映画撮影について

映画撮影に関して、撮影日時の調整を行いました。

撮影時の注意事項として、

- ・1日のストーリーなので、撮影時は、同じ服装・髪型・靴で来ること。
- ・暑い時期の撮影なので、タオル・水筒など暑さ対策をすること。

などがありました。

(3)ビデオ撮影について

今回の講座講師である、松本金奈夫先生より、ビデオ撮影についてのお話がありました。ビデオを撮影する方法など詳しい内容は、次回講座で行いますが、何年前のビデオコンクールで子どもが撮影したビデオが賞をとった話などをしてくださいました。そのコンクールでは、賞金が高額だったことを知り、塾生たちは、ビデオ撮影に対する意欲が一気に沸いた様子でした。

※担当者より

講座風景の写真撮影を忘れており、写真のないことをお詫びいたします。

第2回 高浜ビデオクラブ講座

日時:5月21日(土)13:30から15:30

場所:翼公民館

テーマ:ビデオ撮影の方法とストーリー

講師は、加藤行延先生です。

(1)ビデオ撮影の方法

☆今日覚えて欲しいビデオ用語

- ・シューティング:ビデオを撮影すること。
- ・逆シューティング:ビデオのONとOFFを間違えて撮影すること。
↑よく起こるミスなので注意!

まず、はじめに「上手なビデオとはどんなビデオか?」ということを考えました。が、なかなか意見が出てきません。

逆に「下手なビデオとは?」とたずねると次々と意見が出てきました。

その対策について学びました。

この対策を守れば「上手なビデオ」が撮れます。

- ・人が映ってない →(対策)撮りたいものがちゃんと映っていること
- ・ピンボケしてる →(対策)ピントが合っていること
- ・逆シューティング →(対策)“録画”や“REC”の表示が画面にあるか常に確認する
- ・対象が不明 →(対策)撮りたいものが何か分かるようにする
- ・カメラを落とした →(対策)カメラを正しく持つ。手に合うようバンドを調整する。
- ・レンズに指が映りこむ →(対策)カメラを正しく持つと指は映りません
- ・ブレている →(対策)カメラを正しく持つと手ブレが減少。ブレに気をつける。

松本金奈夫先生は、カメラを落とさないように、カメラのストラップを腕に巻きつけたりするそうです。

(2)みんなで映画をつくろう!!

10/9(日)に行われる加藤先生制作映画の上映会にて公開できるよう、夏休みに撮影を行うことにみんな同意してくれました。

学校行事などを考慮しつつ、今後予定を決めていくつもりです。

映画を作成するにあたり、内容(ストーリー)について、意見を出しました。

探偵みたいな人が出てくる、登場人物が個性的、コスプレ(メイドさん)が出てくる、ハッピーエンド、大どんでん返しがある、強い敵が現れる、などいろいろな意見が出ました。

この意見をもとに、ストーリーは加藤先生が作ってくださいます。
 どんなお話になるかとても楽しみです。

配役についても、話し合いがなされました。
 すぐでいたい人、そこそこ出たい人、少しだけ出たい人、出たくない人など、希望を出し、それに合わせて、先生が配役を考えます。

(3)ビデオ撮影をしよう！

実際に、撮影をしてみました。

監督・助監督・カメラマン・音声などのスタッフを交代で行い、体験しました。

撮影される人も交代です。「自分の好きな映画」というテーマで発表しました。



加藤先生・榊原先生より、機械の持ち方や使い方を教えていただきました。



助監督もカチンコをもってスタンバイです。いよいよ撮影開始です。

このような感じで撮影を行いました。

[第2回講座撮影風景](#) (クリックすると動画が見られます)。

本物の機械を使っでの撮影なので、少し触るだけですが、ドキドキワクワクします。

【今後の予定】

・10月9日(日) 碧南市芸術文化ホール シアターサウスにて映画上映会開催

上映作品: 「スケッチブック」(加藤先生監督作品)

「きらら」(加藤先生監督作品)

+ 高浜ビデオクラブの作品

・・・となるよう、ビデオについて学びながら、作品を作ります。

上映時間など詳しい内容は、分かり次第ホームページに公開します。

[第1回 高浜ビデオクラブ講座](#)

日時: 4月16日(土) 13:30から15:30

場所: 翼公民館

(1)ビデオ制作について

まず、はじめに自己紹介と、ビデオクラブに入った理由を順に話しました。

その後、どんな映画を作りたいか、意見を出し合いました。

- ・CGを使ったもの
- ・アクション映画(少林寺のような)
- ・アニメーション(イラスト・パラパラ漫画のような)
- ・実写とアニメーションを組み合わせる(ブルーバック合成技術)
- ・お笑い

他にも、「マトリックスのようなスローモーションを取り入れたもの」、
「スターウォーズのようなSF」、「タイタニックのようなもの」などの意見がありました。

先生も塾生も映画好きとあって、映画の話にとっても盛り上がりました。



結果、少し合成技術を取り入れた、短いお話を作ることになりました。
キャスト(出演者)は全員で、スタッフは交代を行うことにしました。

(2)カメラの前で話そう。

カメラの前で、20秒間以上、自己紹介と未来の夢というテーマで話しました。
何を話すか、紙にまとめたあと、発表します。

最後の締め方がなかなか大変で、
「また来週！」
「続きはWEBで！」
など、趣向を凝らしたものが撮影できました。



撮った映像は先生がその場で、編集し、音楽をつけて、上映しました。

音声を調節する技術、早まわしやスローだけでなく、逆回転映像になる技術について
学びました。

今回は、映画の内容(ストーリー)について、考える講座です。
どんな映画ができるかとても楽しみです。

[RSS FEED](#) [記事一覧](#) [サイトの最初のページへ](#) [ページの先頭へ](#)

Copyright(C) 2008 たかはま夢・未来塾 Allrights reserved.